

高品質大玉イチゴ高評価 販売高5年連続4億円突破



西山副会長
あいさつ

令和6年度は「良質な苗作り」「適期定植」「管理作業の徹底」で、部会員が一丸となり高品質なイチゴ栽培に努め、消費地に選ばれる産地を目指しました。JA菊池のイチゴは、品質も味も市場での評価も高く、消費者にも喜ばれています。大玉に限定した特別販売品や輸出も好調でした。天候不順で一番果の出揃いが遅れましたが、栽培管理の徹底を図り乗り越えました。令和6年度は新たに4人が入会しています。

令和7年度も若手からベテラン農家が一つになり、高品質なイチゴ栽培に努めます。西山裕次郎副部会長が「気候変動により、年々高温多湿で栽培環境が難しい状況にありますが、部会一丸となり品質の良いイチゴ作りに一層努力しよう」とあいさつ。市場側からは大玉生産や秀品率の高さ、食味で好評を受けました。

※部会員41戸。品種は「ひのしずく」「ゆうべに」「恋みのり」の3種。



代表者が登壇

〈優績農家表彰〉

山下幸一・孝代、矢島靖雄・きぬよ、堤拓憲、西山裕次郎
宮川忠幸・いづみ、有田博行・桂子、永田清信・美津代
永田正一郎・京子、高山浩・富恵、古閑信一・順子
渡辺義一・沙織、辻善宗、村上雄哉・由香梨
(株)寿ファーム、木村克幸・美由紀、井村裕次郎・智美
林誠二・泰司

新人賞＝田崎慎治・あや子、青山裕哉

ゴボウ部会総会 R7.8.7

北宮農センター 石原 誓志郎

「菊池水田ごぼう」の魅力発信強化



上野部会長
あいさつ

令和6年産は夏場の高温や少雨により、高温障害と害虫被害の影響が大きく収量の減少となりました。そんな中でも、部会員が一丸となって出荷前の目均し会や選別の徹底で、高品質のゴボウを出荷することができました。令和5年度から始めた京都での料理教室を継続し、新メニューでおいしさをアピール。「菊池水田ごぼう」のファン獲得に取り組みました。市場との取引会議や市場担当者の視察や作業体験なども増やし、市場との信頼も深めました。メディア対応も積極的に取り組み、県内外へ菊池ゴボウの魅力を発信することができました。

令和7年度は「土づくり」「栽培技術の構築」「一貫体制の確立」で更なる品質向上を目指します。販売面では相対取引、規格外商品の販路拡大で、菊池ゴボウの魅力発信を更に強化します。

※部会員77戸。栽培面積は春ゴボウ59ha、冬ゴボウ86ha。



代表者が登壇

〈優秀農家表彰〉

池田実、(株)オクダファーム、川口晃範、栗原嘉博・春美
小林昭・和子、(合)ノムラファーム、城弘光・敦子
松田義照・美津代、松原博文・まゆみ、大矢野由美子
川上悦史、菊川賢一、後藤堅二・優子、小林秀樹・資美
(合)村上農園、立花富浩・正子、村上公治
八並章一・昭子、今村幸弘・八重子、有働敏徳・直美
上野洋一、坂梨祐太

躍進賞＝城弘光・敦子